

年 組 名前：

県出身先発大森選手が優勝に貢献

中学で夢掲げ 有言実行

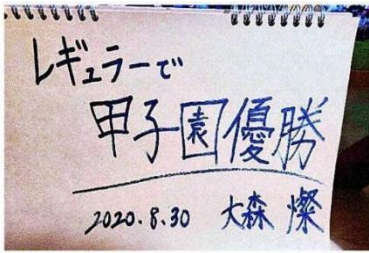
第95回選抜高校野球大会で、山梨学院の二塁手・大森燦(忍野中出身)が県出身者として唯一、先発メンバーに名を連ね、優勝に貢献した。自宅の一室には中学時代に「レギュラーで甲子園優勝」と記した画用紙を飾り、全国各地から有望選手が集まる山梨学院に進学。試合に出たい」と努力を重ね、有言実行の快挙を成し遂げた。「信じられないくらいうれしい。首にかけた優勝メダルを手に、満面の笑みを浮かべた。〈小池直輝〉

画用紙に太いサインペンで書かれた、「レギュラーで甲子園優勝 2020.8.30 大森燦」。中学3年の夏、所属していた富士河口湖リトルシニアを卒団した際、高校進学に向けた決意を記そうとペンを握った。

山梨学院では「相応の努力をしないと、ベンチに入ることさえ難しい」と感じていた。毎朝の自主練習でノックを受けるなど、レギュラー獲得を目指して努力を重ね、選抜大会で背番号「1」をつかんだ。1回戦から決勝まで全6試合に先発出場し、報徳学園(兵庫)との決勝では10度の守備機会を無難にさばくなど勝利に貢献した。

「優勝の」実感はまだわからないが、両親や仲間から祝福され、うれしさをいっぱいと大森。選抜大会を通して「精神力が鍛えられ、どんな状況でも前向きに力を発揮できるようにになった」力を込めた。集大成の夏に向け、練習が

休む間もなく始まる。もう一度、甲子園でプレーするためにも「現状に満足せず、努力を重ね、もう一度、あの日の決意に応えたい」。選抜大会優勝で得た自信を胸に、再び始まるチーム内のレギュラー争いに臨む。



山梨学院の大森燦が中学3年の時、高校進学に当たって決意を書いた画用紙

(2023年4月3日付 山梨日日新聞 22面)

問1

第95回選抜高校野球大会で、優勝した山梨学院高校の大森燦二塁手(忍野中出身)は、中学3年の時、どのような決意を掲げましたか。

.....

問2

強豪チームでのレギュラーを獲得するために、どのような努力を重ねましたか。

.....

問3

大森燦さんは、夏の大会に向け、今の気持ちをどのように話しましたか。

.....

問3

あなたの、将来に向けての目標を、自由に書いてください。

.....